

## 第9回議会報告会概要報告一覧

| 担当班 | 開催月日      | 開催時間        | 場 所                                    | 出席者数 |
|-----|-----------|-------------|--|------|
| 1班  | 10月28日(水) | 19:00～21:00 | 磯鶴公民館                                  | 15名  |
|     | 10月29日(木) | 19:00～20:45 | 和井内ふるさと会館                              | 11名  |
|     | 10月30日(金) | 19:00～20:45 | 中里団地仮設集会場                              | 8名   |
| 2班  | 10月28日(水) | 19:00～20:30 | 川内地域振興センター                             | 3名   |
|     | 10月29日(木) | 19:00～20:30 | 第21分団屯所(津軽石)                           | 5名   |
|     | 10月30日(金) | 19:00～20:45 | 宮古市役所                                  | 18名  |
| 3班  | 10月28日(水) | 19:00～21:00 | グリーンピア三陸みやこ<br>応急仮設住宅集会場<br>(多目的グランド内) | 18名  |
|     | 10月29日(木) | 19:00～21:00 | 田鎖地区総合交流促進<br>センター                     | 10名  |
|     | 10月30日(金) | 19:00～21:00 | 赤前小学校グランド<br>仮設集会場                     | 7名   |
| 4班  | 10月28日(水) | 19:00～21:00 | 重茂公民館                                  | 12名  |
|     | 10月29日(木) | 19:00～20:45 | 第3分団屯所(横町)                             | 4名   |
|     | 10月30日(金) | 19:00～20:30 | 樺内地区集会施設                               | 7名   |
| 5班  | 10月28日(水) | 19:00～20:30 | 近内地区センター                               | 7名   |
|     | 10月29日(木) | 19:00～20:45 | 崎山公民館                                  | 11名  |
|     | 10月30日(金) | 19:00～20:20 | 小国地域振興センター                             | 11名  |
| 計   |           |             | 15カ所                                   | 133名 |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場  | 参加者数 | 担当議員   |
|--|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 28 日(水)<br>19 時 00 分～21 時 00 分<br>会場：磯鷄公民館 | 15 名 | [ 1 班]<br>松 本 尚 美 橋 本 久 夫<br>佐々木 清 明 白 石 雅 一<br>伊 藤 清 田 中 尚                                    |
| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |  |
| 議員数が少なくなり常任委員会が 4 委員会から 3 委員会になった場合、どのようになるのか。             |      | 所管する委員会によって範囲に差があるので、経済常任委員会と建設常任委員会を 1 つにする案がある。  |
| 28 人から 22 人に定員数が少なくなると、広範囲な宮古市をカバーできないのではないか。              |      | 現状でも各地域から議員を選出しており、22 人となっても各地域から選出されると思うので問題ないと思う。  |
| 議員報酬について、高いか低いかどう思っているのか。                                  |      | 市の規模により報酬額は違うので、他市や他地方と比較しながら本市に合ったものにしたい。その上で、報酬額は上げるべきだと思う。                                  |
| 定数減したその分を、議員報酬アップの財源にするのか。                                 |      | 議員定数を削減すると報酬引き上げは直接の関係性は無い。ただし、議員数を削減すれば財源ができるので、同じタイミングになる。                                   |
| 次回から選挙費用は全部無料になるのか。  |      | 供託金 30 万円は必要。また、後援会活動等は別途なので全てが無料なわけではない。対象になる費用についてもポスター発注会社や選挙カーの利用など個人差があり、多くかかるとは一概には言えない。 |
| 多くの人が立候補した場合はどうするのか。                                       |      | 多くの人に立候補してもらうことで、有権者の選択の幅が広がる。   |
| 若い人が議員に挑戦できるよう報酬は上げるべき。                                    |      | (意見)   |
| 報酬を上げる以上、志があり価値ある議員として活動してほしい。                             |      | (意見)   |
| 通年議会になった場合、市役所職員が対応に追われ忙しくなり市民サービスが低下するのではないか。             |      | 議員の活動が活発になり、それに伴い職員も忙しくなる可能性はある。今後、職員の仕事の軽減を検討する。  |

| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |
|--|--|
| 通年会期について、他市の動向はどうか。  | 他市でも取り入れ始めている。   |
| 高齢者への対応は定住化対策のどこにあるのか。                                       | 若者や子育て世代、移住者を中心とした提言をしている。   |
| 独身のまま結婚せずに過ごしてしまう人が増えているが、対応や対策はあるのか。                        | 県の事業で婚活のサポート制度を年間 5 組のカップル成立をめざし 10 月 1 日に開始した。陸中ビル内にそのセンターがあるので利用を勧めたい。また、市でも事業に対する補助金制度を始めている。   |
| 子育て支援の中で、不妊に関する取り組みや補助金が入っていないのはなぜか。                         | 現在、市で行っている不妊対策事業があるので入れていない。   |
| シティプロモーションとは何か。  | 宮古の文化や観光、食材などを動画や広告などでアピールし、宮古の魅力や素晴らしいを全国に発信するもの。   |
| 学ぶ防災とはどういうものか。   | 旧たろう観光ホテルが震災遺構として学ぶ防災プログラムに組み込まれている。   |
| 仕事の創造政策で、大きな会社の誘致や若者の仕事づくりについての具体策はあるか。                      | 北海道室蘭市とのフェリー航路が開通する予定になっており、そうすると、物流が増え物流会社等の誘致が期待できる。また、再生可能エネルギー事業やブルーチャレンジプロジェクト等も現在取り組んでいる。その他、秋田県大館市のように安くて利用しやすい工業用地を市でも用意しなくてはいけないと考える。 |
| 松原公園の砂が泥状態で、乾くとすぐに砂埃が出る。整備してほしい。                             | (要望)<br>担当課へ伝える。   |
| 介護予防教室が市内でたくさん開催されている。参加することで元気になることもあるが、遠征するための無料バスを貸してほしい。 | (意見)   |
| 学ぶ防災の中に三王岩や三陸ジオパークを取り入れてほしい。                                 | (意見)   |
| 宮古は、生活が車中心になっている。自転車や歩行者にも目を向けた道路整備をしてほしい。                   | (意見)   |

| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |
|--|--|
| 正月やお盆に帰省客が友人などを連れてくる。その際、宮古に長期滞在してもらえるような政策を取り入れてほしい。                              | (意見)   |
| 中心市街地拠点整備事業はどうなっているのか。   | 新庁舎移転のためのJR用地取得予算の議案は、議会で可決された。                                      |
| 住民投票はなぜなくなったのか。  | 定例会最終日に提案となつたが、住民投票については否決となつた。                                      |
| 出入りの道路については、どうなっているのか。   | バイパス道路入口の整備を同時に行うなどして、利便良く使えるよう周辺道路を含めて検討中。                          |
| 災害公営住宅が完成してきているが、どれくらいの人が入居しているのか。   | 市街地は入居希望者が多く、倍率が高い。逆に郊外は空いているところもある。家賃や引越しの問題等があり、入居に時間がかかっている場合もある。 |
| 公営住宅は制約が多く住みづらいと聞くがどうか。  | 賃貸であれば制約はあるが、画鋲などの刺し傷等であれば退去の際に補修を行う。                                |
| 藤の川の防潮堤はどうなっているか。  | 県事業なので市では判断できない。有志が9月下旬に要望書を提出したが未回答と聞いている。工事はストップしている。              |
| 防災無線放送が磯鶴公民館周辺には聞こえない。どうにかしてほしい。   | 危機管理課に伝える。   |
| 防災無線放送が室内にいると聞こえない。部屋に置けるようなものがほしい。  | 室内用の防災無線機がある。  |
| 年配者のためにも公共交通利用を前提とした市庁舎にするべき。  | (意見)   |
| 市役所は若い人が主に使うのだから、合同庁舎の方でも良いのではないか。   | (意見)   |
| 震災で磯鶴駅が利用できなくなり、磯鶴の信用金庫もなくなり不便だ。   | (意見)   |
| 藤の川の防潮堤について市長に手紙を出した。県の決定に従うとのことだったがまちづくりに関わることなので防潮堤が必要か必要でないかをはっきりさせた方が良いのではないか。 | (意見)   |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場  | 参加者数 | 担当議員   |
|--|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 29 日(木)<br>19 時 00 分～20 時 45 分<br>会場 : 和井内ふるさと会館 | 11 名 | [ 1 班]<br>松 本 尚 美 橋 本 久 夫<br>佐々木 清 明 白 石 雅 一<br>伊 藤 清 田 中 尚                            |
| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |  |
| 和井内ふるさと会館が会場の場合は、地元議員を出席させるべきではないか。                              |      | 議員のいない地域もあり地元議員に限定してしまうと不公平が出てしまう。   |
| なぜ、来る議員は抽選なのか。   |      | 会場が多数あるので、不公平の無いよう抽選としている。各班に各常任委員会から委員が入るようにしている。                                     |
| 議員報酬はなぜ引き上げをしなくてはいけないのか。   |      | 今後、若い人に挑戦してもらいたいことと、現在、議員報酬は月額 32 万円だが、議員活動に専念して取り組めるようにするため。                          |
| 定数が 22 人に削減されるが、これは選挙公営制度導入や議員報酬引き上げのためか。                        |      | 定数削減は制度導入と報酬引き上げに直接の関わりは無いが、議員数を削減すれば財源ができる。選挙公営制度は宮古市以外の県内市は導入している。議員報酬は全国平均に合せていくたい。 |
| 全ての議員がちゃんと働いているのだろうか、それぞれの働きに見合ったようにしてはどうか。                      |      | 議員は選挙で皆さんに選んでいただいているので、今後も一生懸命働いて皆さんに認められるよう頑張っていきたい。                                  |
| 安庭山荘が廃止になるという噂を聞いたが、それは本当か。                                      |      | 公共施設再配置検討会の中で出された話のようで、議会への説明はまだ無い。  |
| 農村留学を岩泉町や葛巻町でやっているが、宮古市ではどうだろうか。                                 |      | 参考にさせていただく。  |
| 婚活支援活動はどのような状況か。   |      | 県が 10 月にサポートセンターを宮古市陸中ビル内に設置した。市でも婚活サポート団体に補助金を出している。                                  |
| 団塊世代に対する出会いサポート事業があっても良いのではないか。                                  |      | 今回の定住化対策案は、子育て世代をターゲットにしている。   |
| 都心部で独居老人の問題が深刻化していると聞く。この人たちを宮古に連れてくることはできないのか。                  |      | 以前、高齢者の移住について検討したことがあるが、介護保険料や介護従事者の問題があり難しい。  |

| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁                        |
|---|----------------------------|
| 倉の沢橋の補修はどうなっているか。   | 市では順次補修計画案を出している。担当課へ確認する。 |
| 何年か前に議会傍聴をしたが、帽子を取るよう言われた。受付で言ってほしかった。  | (意見)                       |
| 廃校を利用した仕事創造を積極的に取り組んでほしい。   | (意見)                       |
| 安庭山荘は高齢者の憩いの場として地域の人たちが苦労して作り上げてきたものだ。それをあっさり切ることはしないでほしい。高齢者の健康維持や自殺防止などに役立っている。存続してほしい。 | (意見)                       |
| 地域の人たちが産直施設を有用に使っている。そこをなくさないようにしてほしい。  | (意見)                       |
| 議員は研修費をもらっているので、地域課題解決のためしっかり勉強してほしい。   | (意見)                       |
| 市は地域の奥まで目を行き届かせてほしい。携帯の電波も入らずインターネット環境も整っていない場所がある。もっと情報環境整備に力を入れるべき。                     | (意見)                       |
| 独居老人が地域の奥にいるので、通院対策や介護対策をしっかりしてほしい。   | (意見)                       |
| 介護予防活動に人が集まらない。団塊世代の方々を中心に来てほしい。  | (意見)                       |
| J R の代行バスは駅にしか停まらない。路線バスの停留所で停まってほしい。   | (要望)<br>担当課へ伝える。           |
| 刈屋の丸光ガソリンスタンド前が、冬になると凍って側溝の水があふれる。排水を直してほしい。  | (要望)<br>担当課へ伝える。           |
| ケアマネージャーや介護職員の待遇を良くするべき。給料が安いので若い人が来ない。人材の確保に努めてほしい。                                      | (要望)<br>担当課へ伝える。           |
| 安庭害鷹森林道の草刈りができない。   | (要望) 担当課へ伝える。              |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場  | 参加者数 | 担当議員   |
|--|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 30 日(金)<br>19 時 00 分～20 時 45 分<br>会場：中里団地仮設集会場 | 8 名  | [ 1 班]<br>松 本 尚 美 橋 本 久 夫<br>佐々木 清 明 白 石 雅 一<br>伊 藤 清 田 中 尚                |
| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |  |
| 議会が無い時は、どのような議員活動をしているのか。                                      |      | 以前は地域要望活動が中心であったが、現在はそれに加え市政等の調査研究活動をしている。                                 |
| 宮古市民全体について考え方行動するべきではないのか。                                     |      | 市長や行政担当者等と市政や行政運営について様々なことを協議し提案している。                                      |
| 震災以前に定住促進についての提案はなかったのか。                                       |      | 震災前は一般質問などで定住化について発言する議員もいた。   |
| 震災避難者を他地区から宮古に連れてくることはできないのか。                                  |      | 定住化対策では I ターン、U ターン等施策を取り入れている。担い手育成や農地付き住宅の斡旋等で人を呼べるようにしたい。               |
| 中古住宅を購入したが、引越し代は出ないのか。   |      | 加算支援金を受け取っている方はその中に引越し代が含まれているので現状では出ない。しかし、今回の議会で引越し代の別途追加について検討することになった。 |
| 家がほしい若者のために最初は賃貸でも途中から家を購入できるような制度が必要なのではないか。                  |      | 今回の定住化の提言に入っている。具体的な政策を検討していく。   |
| 災害公営住宅の保証人は絶対必要か。  |      | 現在は、努力しても保証人が見つからない場合は絶対に必要ではないとされている。                                     |
| 宮古市に不満を感じ黙って出ていった人たちの意見を聞くべき。市の発展のためにも様々な意見を聞くべきだと思う。          |      | (意見)   |
| 鍬ヶ崎の活性化のため、区画整理の宅地引き渡しの順番を銭湯等の憩いの場所優先にすべき。                     |      | (意見)   |
| 宮古は閉鎖的なので、それを打開するような政策をするべき。                                   |      | (意見)   |
| 働く場所がない。あっても給料が安い。   |      | (意見)   |

| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |
|--|------|
| 鉢ヶ崎地区の区画整理事業は大分遅れている気がする。家を建てようと思っていたが時間ばかりが過ぎ資金も気力もなくなってきた。どうにかしてほしい。 | (意見) |
| 地元以外の方が工事をしているので工事の手法等、無駄な部分が多い気がする。梅翁寺あたりの沢は工事に無駄があると思う。              | (意見) |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場  | 参加者数 | 担当議員   |
|--|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 28 日(水)<br>19 時 00 分～20 時 30 分<br>会場 : 川内地域振興センター                              | 3 名  | [ 2 班]<br>落 合 久 三 小 島 直 也<br>工 藤 小 百 合   |
| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |  |
| 区界の道の駅等の廃止検討の新聞発表があつたが本当か。   |      | 国道 106 号線のトンネル等の整備に伴い旧道となる道の駅の利用が減るのは必至。新聞報道で我々も初めて知り驚いている。                            |
| 新しいルートで国道 106 号線ができたとしても現在の道路をバスが通るよう要望したい。  |      | 県北バスの運行には市の補助金も使われており道路完成後には停留所への接続の検討が必要だ。市に伝える。                                      |
| 川井地域に仕事を増やしたり産業団地の施策を望む。区界トンネル、立丸トンネルの完成後に盛岡や遠野との産業の連携ができるのではないか。川井地域に公営住宅の建設予定または廃校利用の計画はないか。 |      | 地域の活性化、農業の振興のためシソの葉以外にかんぴょう(夕顔)の生産に力を入れるなど特産品の開発、販路の拡大が大事だ。今後農業に従事する人のために住宅整備は検討するべきだ。 |
| 宮古岩泉風力発電事業について、岩泉では前向きに取り組んでいると聞く。宮古でも早く取り組むべきだ。   |      | 風力発電は前向きに考えて良いと思う。事業者の説明を早く聞きたい。   |
| この風力発電事業計画は川井地域の活性化のチャンスだ。事業者を呼んで話を聞き計画を急いでほしい。  |      | 現在議会では教育民生常任委員会に審議が付託され現地を視察したばかりだ。今後、検討していく。  |
| 木の博物館の利用促進をお願いしたい。若者たちが利用可能な、空き家を使い提供する策はないか。  |      | 閉校した校舎を、使う手もある。  |
| 漆工芸館の移転には大きな経費が掛かると思う。それよりも、木の博物館のほうに力を入れるべきだ。   |      | 市に伝える。   |
| 議員報酬を上げることには賛成だ。が、そのタイミングは慎重にすべきだ。   |      | (意見)   |
| 公共施設の廃止計画が示された。対象になる施設を吟味してほしい。運営を存続するべきものもあると思う。  |      | 人口に対する施設の割合も大事だが見直しもあるべきだ。一つ一つの施設には設置理由、役割がある。大切なことは、関係住民との合意を形成することだ。                 |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場  | 参加者数 | 担当議員  |
|--|------|---|
| 日時:平成 27 年 10 月 29 日(木)<br>19 時 00 分～20 時 30 分<br>会場:第 21 分団屯所(津軽石)  | 5 名  | [ 2 班]<br>落合 久三 竹花 邦彦<br>小島 直也 佐々木 重勝<br>工藤 小百合                                 |
| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |   |
| 議会報告会の班編成はどのように決めるのか。地元の議員が出た方が良いと思う。                                |      | 議員は地域の代表というわけではない。常任委員会等のバランスを考えながら抽選で班を編成している。                                 |
| 国道 45 号線の駒形橋入口部分の交差点は、朝夕の渋滞が激しく事故が起こりうる。信号機の工夫、例えば感応式にする等の改善策をとるべきだ。 |      | 三陸道の建設等で、ダンプの数が相当数増えている。三陸国道事務所の管轄だが、現在のところ手だてがないようだ。市に伝えるが各町内会長連名で、要望することが大事だ。 |
| 議会における通年会期のメリットは何か、説明してほしい。  |      | 会期に制限がないので、審議時間を充分取ることができる。市長の専決処分を減らすことができる。常任委員会等の活動を充実でき、議員の力量アップを図れる。       |
| 津軽石町内の中心部（小学校の下、災害公営住宅周辺）の土地が低く水溜りが溢れる。この洪水対策はどうか。                   |      | 市に伝える。  |
| 定住化の目的で、公営住宅の建設、供給を考えてほしい。住宅の確保が農漁業の後継者の問題の解決にもなると思う。                |      | 若者が住まいや仕事を確保しやすいように、空き家の利用など、様々な策を提案していくところだ。                                   |
| 若者の婚活を推進してほしい。   |      | 県事業として市内にも結婚サポートセンターが設置され、新しい交流が期待できる。  |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場  | 参加者数 | 担当議員   |
|--|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 30 日(金)<br>19 時 00 分～20 時 45 分<br>会場：市役所 6 階大ホール     | 18 名 | 〔2 班〕<br>落合 久三 竹花 邦彦<br>小島 直也 佐々木 重勝<br>工藤 小百合                               |
| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |  |
| 震災復興が済んでから、議員の数を減らすべきだ。  |      | 昨年、改選選挙では無投票となった。それ以前の議会報告会では、議員数が多いとの沢山の声があったことを踏まえ、6人の削減を決定した。             |
| 昨年の選挙で公報を発行しなかった。選挙終了後でも、各議員の公約等を提示すべきだったのではないか。                     |      | 主旨は理解するが当時選挙管理委員会は、そのように決断した。無投票になったことを踏まえ公報を発行する事はできない（違法）との判断を下したものと受け止めた。 |
| 国道 106 号線から板屋に向かう、交差点内の信号機側の街路樹の枝葉が交通の妨げになっている。伐採すべきではないか。           |      | 町内会で申し入れるべきである。市の建設課に伝える。  |
| 南町の土手の桜の木が大きくなりすぎて歩行者の邪魔になっている。管理が行き届いていない。                          |      | 堤防の管理は県が対処すべきもの。個人の所有物であればその人と話し合うべきだ。                                       |
| お墓を守る方が居なくなってきた。合同の埋葬施設（墓地）を設置してほしい。                                 |      | 市に伝える。   |
| 向町（最近建設された大井アパート）からバイパスに右折進入時に、ガード（防音壁）が視界を遮り危険である。ガードを外すことはできないか。   |      | 市に伝える。   |
| 平成元年頃、ふるさと創生基金を旧宮古市でもいただいたと思うが、何に使ったのか。                              |      | 子どもたちの教育のための基金積み立てをした。   |
| 人口減少、少子化の問題に真剣に取り組んでほしい。農業、水産業等の後継者不足の問題に厚い支援策を考え、具体的なものを市民に説明してほしい。 |      | 議会でも特別委員会を設置して取り組んでいる。機会を捉えて市民に説明していく。                                       |

| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁  |
|---|--|
| J R 山田線（三陸鉄道に運営移管）から道路交通にシフトすべきだ。                   | 議会としては鉄道の復旧を目指している。厳しい運営は予想されるが、八木沢、払川等、新駅を設置したり、利用促進策を考え、鉄道離れを克服していきたい。 |
| 新庁舎移転地の洪水対策は大丈夫か。                                   | 庁舎の建設に当たっては、1メートルの盛土、嵩上げを計画している。   |
| 市内の多くの川底に堆積している土砂、又繁茂している植物は、洪水時には災害を助長するのではないか心配だ。 | 県は、土砂の運搬場所がないことを課題としている。市でも県と連携して、運搬、保管場所の確保に取り組んでいる。                    |
| 旧たろう観光ホテルを震災遺構にすることに疑問を持っている。維持費はいくらかかるのか。          | 市は、建物を無償で受け取り土地を買った。年間の維持費は1千万円をみており、寄付金を充てる予定で、現在のところ 700万円くらい集まっている。   |
| 議会の通年会期を早く実施すべきだ。                                   | 市当局と協議、調整中である。   |
| 市の奨学金の返還免除を実施すべきだ。                                  | 全国的にも取り組みは広がっており、検討すべき課題である。   |
| 水門を作っているのだから、安心、安全は確保されていると思う。市庁舎はそのまま現在地に置くべきだ。    | (要望)   |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場   | 参加者数  | 担当議員  |
|---|---|---|
| 日時:平成 27 年 10 月 28 日(水)<br>19 時 00 分～21 時 00 分<br>会場:グリーンピア三陸みやこ<br>応急仮設住宅集会場<br>(多目的グランド内)                         | 18 名  | [ 3 班]<br>藤 原 光 昭 須賀原 チエ子<br>中 島 清 吾 坂 本 悅 夫<br>今 村 正 |
| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁   |   |
| 現在 28 名の議員だが旧市町村の内訳はどうか。  | 田老地区 4 名、新里地区 2 名、川井地区 2 名、他は旧宮古地区だ。  |   |
| 選挙公営制度の県内の状況はどうか。   | 宮古市議会以外は全ての市で行っている。   |   |
| 通年議会にした場合のメリット、デメリットを示しているが、なぜ通年議会にする必要があるのか。   | 専決処分等が多いこと、常任委員会を強化、活発化し議会としてチェック機能を強化するため議会改革の一つとして進めている。しかし、当局の負担が多くなることも考えられる。   |   |
| 他市の通年議会の実施状況はどうか。また、議員活動が制限されたり、当局の負担が大きくなるのであれば、しなくても良いのではないか。   | 滝沢市や紫波町で実施している。久慈市は試行中である。他県の県議会では通年議会を元に戻した例もある。基本的には通年議会に向けて進めているが実施するためには条例改正等も必要になることから、今後も検討していく。  |   |
| 専決処分が多いのは復興期間だけで、それを過ぎると減ると思うがどうか。  | 特に今は復興のピークであり、3 年から 4 年後には減ってくると思う。   |   |
| 中心市街地拠点施設整備事業について、財政措置も含めてどうなのか。合併特例債といつても借金であり、交付税措置されても借金にかわりはない。人口も減ってきている中、将来的に新しい事業ができなくなるのではないか。議会としてどう考えるのか。 | 市庁舎は合併特例債、保健センターは災害復旧費、市民交流センターについては復興交付金等を利用して建設しておかないと、将来一般財源だけで建設できなくなるとの市の考えだ。事業費が多額である事や、駐車場が狭い事、また、交流センターの見直し等も含め、議会として各会派で討議し意見を取りまとめて検討している最中だ。 |   |
| 消防団員不足について黒石市では 60 歳定年制があるが、宮古でも取り入れたらどうか。  | (要望)  |   |

| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁  |
|---|------|
| 新聞に載っていた公共施設再編計画案の区界、新里、小田代等の様々な施設の閉鎖について、利用の多いコミュニティの場については継続を考えてほしい。            | (要望) |
| 小田代方面に向かうトンネル付近の法面が崩れそうになっている箇所があり、通行止めとなっている。この道路は、生活には欠かすことのできない道路なので、早く直してほしい。 | (要望) |
| 定住化を考える上でも、医療（看護師）の学校を作ってほしい。   | (要望) |
| 摂待地区において、震災後集会所が取り壊され、現在、元診療所を利用しているが、集会所がないと不便なので、早期に建設をお願いしたい。                  | (要望) |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場   | 参加者数 | 担当議員   |
|---|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 29 日(木)<br>19 時 00 分～21 時 00 分<br>会場:田鎖地区総合交流促進センター | 10 名 | [ 3 班]<br>藤 原 光 昭 須賀原 チエ子<br>中 島 清 吾 坂 本 悅 夫<br>今 村 正  |
| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁  |  |
| 中心市街地拠点施設整備事業の進捗状況について説明してほしい。                                      |      | 市は建設の方向で昨年から説明会を開催している。市庁舎は合併特例債、保健センターは災害復旧費、市民交流センターについては復興交付金等を利用して建設しておかないと、将来一般財源だけで建設できなくなるとの市の考えだ。事業費が多額である事や、駐車場が狭い事、また、交流センターの見直し等も含め、議会として各会派で討議し意見を取りまとめて検討している最中だ。 |
| JR 用地からヒ素、鉛が出たようだがどのようにするのか。  |      | 有害物質については、JR と市が全て除去する予定だ。   |
| 議員定数の少ない市では、常任委員会はどのようにしているのか。                                      |      | 大船渡市、滝沢市では 3 常任委員会で行っている。当市においてはまだ検討中。   |
| 通年議会と現在の議会方法、どちら側に向かっているのか。   |      | 通年議会へ向けて議論中だ。  |
| 報酬についてはどのように考えているのか。  |      | 若い人たちが、現在の仕事を辞めて議員になるためには足りないのでと報酬の見直しも討論している。特別職報酬審議会で検討し決定になる。   |
| 田鎖地区の西道路建設に伴い、排水計画はどの様になっているのか、今年中にポンプ場ができると聞くが、どうなっているのか。          |      | 建設予定になっている。  |
| 公安委員会に要望しているが、花輪橋工事に伴う渋滞の緩和策はないのか。                                  |      | 全面通行止めで工事を行うと工期は短縮できるが、今以上の渋滞を引き起こす可能性があるので、現在の方法が取られたようである。   |

| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |
|--|------|
| 内陸部には色々な公的施設を作るが、宮古には少ない。県立の大型施設設置を要請出来ないのか。例えば、ジオパークにも関連する「水族館」等。 | (要望) |
| 河川敷公園のラグビー場の上手にテニスコートを設置してほしい。                                     | (要望) |
| 防潮堤建設等に伴い、宮古に海水浴場が無くなるのではないか。市庁舎を作るより自然で子どもたちが遊べる場所等の建設をしてほしい。     | (要望) |
| 一般質問等の日程は、広報に載せてほしい。   | (要望) |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場   | 参加者数 | 担当議員   |
|---|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 30 日(金)<br>19 時 00 分～21 時 00 分<br>会場:赤前小学校グランド<br>仮設集会場 | 7 名  | [ 3 班]<br>藤 原 光 昭 須賀原 チエ子<br>中 島 清 吾 坂 本 悅 夫<br>今 村 正  |
| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁  |  |
| 議員定数について、28 名から 22 名にした理由はなにか。  |      | 民意を反映するには多い方が良いと思うが、市民感情、人口の推移等も考慮し減らすことにした。   |
| 議員報酬について、財源は何か。   |      | 市民の税金だ。  |
| 市議会議員選挙について、小選挙区を設けたらどうか。   |      | 当時の合併協議会で検討したが、全国区制で施行することになった。  |
| 18 歳から選挙権が与えられるようになるが、それでも 22 名の定数になるのか。                                |      | 次回の選挙からは、定数 22 名で実施することになっている。   |
| 常任委員会の兼任はできるのか。   |      | 兼任は出来るが、宮古市議会では行っていない。   |
| 企業誘致は困難な状況なので、イチゴ栽培農家など農産業に力を入れて支援をしたらどうか。農産業をもっと活発にすべきだ。               |      | 宮古の特徴にできるもので、現在あるものを活用できればとても良いと思う。  |
| 県道 41 号重茂線はいつ完成するのか。  |      | 30 年に完成予定だ。  |
| 防潮堤は 29 年に完成するのか。   |      | 29 年完成を目指している。   |
| 赤前運動公園の完成予定は。残った松の木をモニュメントとして残してはどうか。                                   |      | 年度内に入札し、29 年に完成予定だ。モニュメントについては市に伝える。   |
| 中心市街地拠点施設整備事業はどうなっているのか。  |      | 市は建設の方向で昨年から説明会を開催している。市庁舎は合併特例債、保健センターは災害復旧費、市民交流センターについては復興交付金等を利用して建設しておかないと、将来一般財源だけで建設できなくなるとの市の考えだ。事業費が多額である事や、駐車場が狭い事、また、交流センターの見直し等も含め、議会として各会派で討議し意見を取りまとめて検討している最中だ。 |
| 企業誘致等をしなければ若い人たちが市外に出て行くので何とかしてほしい。                                     |      | 他市と同様の施策では通用しない。宮古市独自の施策を考えるよう努力している。  |

| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁  |
|---|------|
| IT化で様々な働き方が出てきている。宮古市であれば場所も賃金も東京に合わせることなくできるので誘致してはどうか。  | (意見) |
| 赤前地区に街灯、ごみ置き場、掲示板の設置をお願いしたい。                              | (要望) |
| 中組に歩道の標識を設置してほしい。また、カーブが多いので雑草が伸びると見通しが悪くなるので草刈りをしてほしい。   | (要望) |
| コミュニティセンター（屯所）が消防優先で使いづらい。また漁村センターが解体されたので集会所を新たに建設して欲しい。 | (要望) |
| 金浜の自動車道出入口付近の交通渋滞の緩和策を考えてほしい。                             | (要望) |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場   | 参加者数 | 担当議員  |
|---|------|---|
| 日時:平成 27 年 10 月 28 日(水)<br>19 時 00 分～21 時 00 分<br>会場：重茂公民館              | 12 名 | 〔4 班〕<br>古館 章秀 内館 勝則<br>近藤 和也 佐々木 勝<br>加藤 俊郎 茂市 敏之  |
| 質疑・意見等  | 答弁   |   |
| 選挙公営制度について、若い人の立候補を促す公営制度の導入が県内では宮古市だけがないということで、公営制度には賛成だが、市の負担はどのくらいか。 |      | 例えば 25 人立候補の場合、約 2,299 万円。                          |
| 議員報酬について、議員定数を減じ、その範囲内で報酬を引き上げる、というのはいかがなものか。                           |      | 削減した分を財源として引き上げたい。また現在の報酬では魅力がなく、立候補者を促すためにも引き上げたい。 |
| 市の人口が減っていく中で、削減した分を財源として引き上げるのは理解できない。                                  |      | 貴重な意見。議会で議論したい。基本的には特別職の報酬は、報酬等審議会で審議されるもの。         |
| 定数を 28 人から 22 人とした理由はなにか。広い宮古市の地域の代弁者が減ってしまうと、地域の声が届きにくくなると思う。          |      | 基本的には財政の問題で、議会のスリム化を図った、ということ。改選期で無競争であったことも考慮した。   |
| 鮫ヶ崎の登り口の整備をしてほしい。   |      | 県管理なので、県に伝える。                                       |
| 浦の沢トンネル工事の進捗状況はどうか。   |      | 計画通りに進んでいる。   |
| 荒巻地区の生活道の荒巻笹見内線の洗穿した道路の早期復旧と落石の除去、及び水門までの道路路面整備を願う。                     |      | 市に伝える。  |
| 後釜線で、土嚢を積んだが、シケで崩れ波に持って行かれた。なんとかしてほしい。                                  |      | 市に伝える。  |
| 避難場所について、津波後に市の調査があった。その後どうなったのか。                                       |      | 市に伝える。  |
| 石浜漁港の消波ブロックが下がっている。嵩上げしてほしい。  |      | 市に伝える。  |
| 宮古市内全般の避難場所、避難道路の整備はどうなっているのか。案内板も整備してほしい。                              |      | 市に伝える。  |

| 質 疑 ・ 意 見 等                           | 答 弁  |
|---------------------------------------|--|
| 石浜までの定期バスを、子どもの部活などに合わせ、あと1時間遅らせてほしい。 | 市に伝える。   |
| 中学生のスクールバスが距離によって利用できない。どうにかできないか。    | 学校から家まで4km以内は乗車不許可。                            |
| 音部川の石垣が崩れたので、補修と河床の整備を願う。             | 市に伝える。   |
| 市役所の移転について、閉伊川の氾濫も考えてもらいたい。           | アイオン台風の時は護岸整備がされていなかったが、今はされているので大丈夫と説明を受けている。 |
| 基本設計の説明会が行われたが、いつ決定なのか。               | まだ明確になっていない。                                   |
| 定住化について、実行の目標数値、誘致企業の話はあるのか。          | 今のところ、特はない。                                    |
| 子育てについて、給食費の未納があるようだが、どうなっているのか。      | 未納は過年度分であり、現在は未納はない。                           |
| 朝、稲荷橋の交差点の車の流れが悪いので、渋滞緩和策を考えて欲しい。     | 市に伝える。   |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場   | 参加者数 | 担当議員   |
|---|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 29 日(木)<br>19 時 00 分～20 時 45 分<br>会場 : 第 3 分団屯所 (横町)  | 4 名  | 〔4 班〕<br>古 館 章 秀 内 館 勝 則<br>近 藤 和 也 佐々木 勝<br>加 藤 俊 郎 茂 市 敏 之 |
| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁  |  |
| 夏屋に風力発電計画があるようだが、どうなっているのか。工事が進めばコンクリートによる河川、飲料水への害が心配される。  |      | 野鳥の会の代表から請願が出されており、教育民生常任委員会で継続調査中である。                       |
| 議員定数を減らした財源で報酬を引き上げるというのはいかがなものか。   |      | 報酬等審議会でのやり取りになる。   |
| 議員の立候補者がないだけでなく、自治会、町内会の役員のなり手がないのが実情だ。定数減で浮いた財源で報酬を引き上げるというのは民間の経営感覚では考えられない。ただし、本気で議員活動をするのであれば、報酬を引き上げることには理解ができる。 |      | 意見として頂戴する。   |
| 防災無線が聞きにくい。(小沢地区)   |      | 担当課に伝える。   |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場   | 参加者数 | 担当議員  |
|---|------|---|
| 日時:平成 27 年 10 月 30 日(金)<br>19 時 00 分～20 時 30 分<br>会場 : 横内地区集会施設 | 7 名  | [ 4 班]<br>古 館 章 秀 内 館 勝 則<br>近 藤 和 也 佐 々 木 勝<br>加 藤 俊 郎 茂 市 敏 之                 |
| 質 疑 ・ 意 見 等   | 答 弁  |   |
| 説明資料は事前に地区に配布すべき。   |      | 検討する。   |
| 定数削減の財源で報酬引き上げはいかがなものか。   |      | 報酬等審議会でのやり取りになる。  |
| 定数は減らさないのが良い。田老、新里、川井からの議員がなくなる可能性がある。                          |      | 意見として頂戴する。  |
| 通年会期導入時のデメリットの中で、地域での議員活動が少なくなると表現しているが、そうならないように活動すべき。         |      | 意見として頂戴する。  |
| 現在の議員報酬では生活できないのか。  |      | 専業となるときつい。若い人、女性の参加等も促したい。  |
| 田老の第一線堤、第二線堤の完成が 27 年度予定だったが、どうなったのか。現状ではできそうがない。津波が来れば大災害になる。  |      | 県工事の発注は全て終了しているが、工事業者が労務者の確保に手間取っていると聞いている。                                     |
| 区画整理事業内で固定電話が使えない。  |      | 市に伝える。  |
| 交通死亡事故が多い。交通安全について議会でも取り上げて欲しい。                                 |      | 要望として頂戴する。  |
| 防火水槽を横内地区に設置してもらいたい。  |      | 予算化しており、近々設置する予定だと思う。   |
| 加工団地の悪臭対策が必要。   |      | 残さいは民間業者に処理を委託している。その業者が終末処理場の建設設計画があり、苦情は大平地区の自治会長が取りまとめて市に伝えることになっている、と聞いている。 |
| 田老地区の小学生が減っている。団体生活に馴染むためにも、交流などを進めて欲しい。                        |      | 教育委員会に伝える。  |
| 館が森災害公営住宅には集会場がないがどうにかならないか。                                    |      | 隣に第 28 分団消防屯所が建設予定されており、そこを活用すること。  |

| 質 疑 ・ 意 見 等                 | 答 弁  |
|-----------------------------|--|
| 私道の除雪をしてほしい。できれば市道管理にしてほしい。 | 市道認定するためには市道の基準で整備し、市に寄付する必要がある。工事費の2分の1の補助率で、300万円上限の補助制度があるが、住民の負担が大変だと思う。 |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場   | 参加者数 | 担当議員   |
|---|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 28 日(水)<br>19 時 00 分～20 時 30 分<br>会場：近内地区センター | 7 名  | [ 5 班]<br>長門 孝則 北村 進<br>鳥居 晋 高橋 秀正<br>坂下 正明      |
| 質疑・意見等  | 答弁   |  |
| 定住化促進の提言とは何か。   |      | 議会として定住化促進対策特別委員会を設置。協議、検討の結果を市に提言として提出する。       |
| 定数減の場合、委員会はどうなるのか。  |      | 現在 4 常任委員会だが 3 常任委員会となる予定だ。                      |
| デマンド交通とは何か。また、運行方法はどうか。                                       |      | 利用者の要求に対し運行する形態。予約して乗車するシステム。タクシー、小型バスの運行が考えられる。 |
| 近内に巡回バスの運行ができないか。   |      | 現在、国の助成により仮設住宅を中心に運行している。これ以上は難しい。               |
| 議員以外の副業を持っている議員はいるか。議員報酬のみで生活している議員は何人か。                      |      | 個人の実情は不明。  |
| 政務活動費はどのようなものか。   |      | 年 15 万円で、収支報告は年度末までに領収書を添付して提出。残金は返還するもの。        |
| 宮古の観光は通過型で発展が無い。目玉が必要だが秘策はあるか。                                |      | 月山観光を目玉とし、部分的だが道路改良工事を行っている。                     |
| 空いている仮設住宅は建設労務者に貸しているのか。                                      |      | 県所有のため、用途変更手続きが必要だ。市では田老三王団地に建設労務者用の宿舎を建設中だ。     |
| 駅南側に庁舎移転の報道があるが、本決定か。現庁舎の利用等はどうなるのか。                          |      | 用地買収の議案も可決され、その方向で進んでいる。現庁舎は取り壊す方針だ。             |
| 北海道にフェリー就航の報道があるが運賃等はどうなっているか。                                |      | 高速道路が開通する 30 年に就航の予定だ。運賃等はまだ決まっていない。             |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場  | 参加者数 | 担当議員  |
|--|------|---|
| 日時:平成 27 年 10 月 29 日(木)<br>19 時 00 分～20 時 45 分<br>会場 : 崎山公民館 | 11 名 | [ 5 班]<br>長 門 孝 則 北 村 進<br>鳥 居 晋 高 橋 秀 正<br>坂 下 正 明 |
| 質 疑 ・ 意 見 等  | 答 弁  |   |
| 4 委員会を 3 委員会にするようだが、どのようになるのか。                               |      | これから議論になるが、経済と建設を一緒にする案が出ている。                       |
| 官古病院の医師不足が深刻で、すぐ開業医への紹介状を書かれる。                               |      | 議会でも医師不足については度々取り上げられている。麻酔科の医師も平日の日中は勤務するようになった。   |
| 議員定数削減は評価するが、報酬アップは必要ない。議員活動費用に回すべきだ。                        |      | 報酬審議会等での議論を注視する。                                    |
| 定住化概要版には I ターン、U ターン、1 次産業の記述がないが、農業、水産業の記述もすべきではないか。        |      | 市では、農業、水産業の育成の補助制度を設けている。                           |
| 通年議会の理由、説明が曖昧だ。  |      | 告示の一週間がなくなる。また、専決処分が議論対象となる                         |
| 中心市街地整備計画案では、施設が多くなるのに駐車場が少ないのではないか。                         |      | 議会内でも「駐車場が少ないので」とは議論している段階だ。                        |
| 中心市街地整備用地は決定か。有害物質の問題はどうなっているのか。                             |      | 用地買収は決定した。有害物質も本工事の時に除去する計画だ。                       |
| 職員の駐車場はどうなるのか。   |      | 職員個人で探すことになる。                                       |
| 崎山貝塚工事が進んでいる。観光に結びつくように期待している。                               |      | (意見)  |
| 崎山保育所の入所児童が多くなって手狭だ。また、老朽化が進んでいる。                            |      | 市に伝える。  |
| 婚活制度の進み具合はどうか。   |      | 県で 10 月にサポートセンターを立ち上げた。                             |

## 議会報告会開催結果

| 日時・会場   | 参加者数 | 担当議員   |
|---|------|--|
| 日時:平成 27 年 10 月 30 日(金)<br>19 時 00 分～20 時 20 分<br>会場：小国地域振興センター | 11 名 | 〔5 班〕<br>長門 孝則 北村 進<br>鳥居 晋 高橋 秀正<br>坂下 正明             |
| 質疑・意見等  | 答弁   |  |
| 宮古の現状を見るに都市の魅力は無い。<br>里山の魅力ではないか。                               |      | 定住化会議の中で議論してみる。  |
| 報酬引き上げは良、政務活動費も引き上げるべきだ。個人支給に賛成。                                |      | 引き上げ議論の中で協議してみたい。                                      |
| 子どもの預け先、学童の家が無い。保育所の閉所時間が午後 5 時と早すぎる。時間延長できないのか。                |      | 川井地区での学童の家の要望は無い。また、川井地区の保育所はへき地保育所の位置づけのためそのようになっている。 |
| 子育てするには小児科医が必要だ。  |      | (要望)   |
| 老人ホーム職員の人材確保ができていない。資格取得の補助を考えてはどうか。                            |      | (要望)   |
| マリンスポーツを楽しみたい。観光のためには砂浜が少ないと思うが、藤の川の工事後はどうなるのか。                 |      | 防潮堤を作る予定で進んでいる。現在より狭隘になるが砂浜は残る予定だ。                     |
| 農地の拡大を図り、機械化を進めたい。国道 106 号線工事残土を有効利用するため私有地に埋め立てできないか。          |      | 残土については各工事場所で調整している。私有地への残土搬入は認められていない。                |
| 林業の振興を図るためにも林道整備が必要だ。   |      | 現状では無理である。   |
| デマンドバスとは何か。   |      | 利用者の要求に対して運行する形態のバスのこと。                                |
| 国道 340 号線立丸峠トンネルが完成すると交通量が飛躍的に増大する。小国小学校を改築し、道の駅の設置を願う。         |      | (要望)   |
| 携帯電話不感地帯があるので解消してほしい。   |      | (要望)   |
| 川井ケーブルテレビでは議会インターネット中継が見られない。                                   |      | 仕組みについて聞いてみる。  |
| 定住化の資料はカタカナ言葉が多い。   |      | 概要版は注釈が無い。今後気を付ける。                                     |

